

- 出品資格：一般および高校生。●用紙サイズ：A課題は半切縦か角半。B課題は半切1/2、縦横自由。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。（作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入）

ありがたいことに多くの書展の案内をいただきます。とくにこの秋は、会期が重なる展覧会多く、忘れないように、会期順に輪ゴムでまとめ、手帳に挟んで持ち歩いてみたり。それから頂いたハガキの空白に感想（良かったこと）を書き入れ、ファイルすることも習慣づけました。どの展覧会もそれぞれ個性があり、開催目的やテーマの選び方、展示方法や展覧会を盛り上げるワークショップ・席上揮毫など、主催者と会話することで、毎回、何かしら新しい発見があり視野を広げることができました。いつも、「なんで」という好奇心と「やってみる」という行動力をもっていたいものです。

現代書部 次号課題

A 新たに年の來るとて 清められたる都路に

朝明の空の晴れゆかば 小さき富士は現はれむ

（河井醉茗 詩）

B 更けて焼く餅の匂や松の内

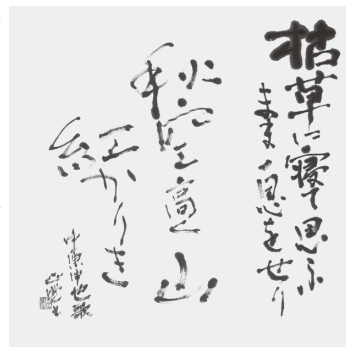
（日野草城 句）

優秀作品

〈A 課題の部〉

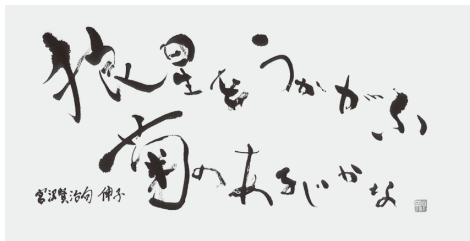


安積瑞泉 濃厚な線質でグイグイ書き進んだ下段が魅力的。



嶋原正覚 文字に表情あり。後半のどこかに前半の墨量がほしい。

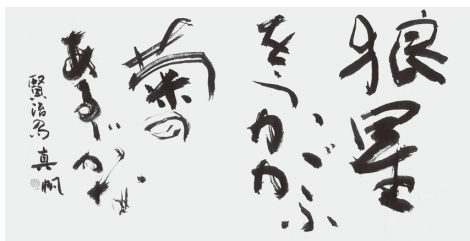
〈B 課題の部〉



新井伸子 夜空にさんざめく星を想像させる構成。落款の位置一考。



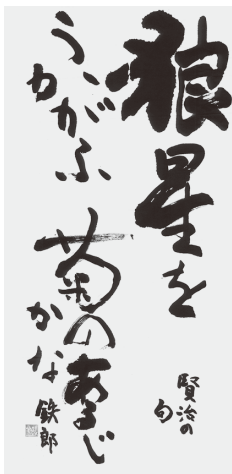
位ノ花玲香 後半の文字群から落款まで一体感あり。



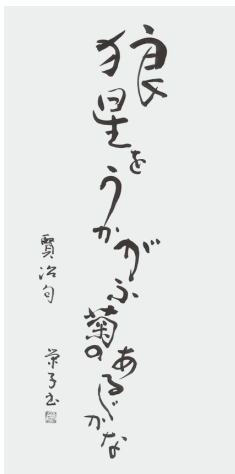
北村真帆 「あるじかな」のまとめ方が秀逸。



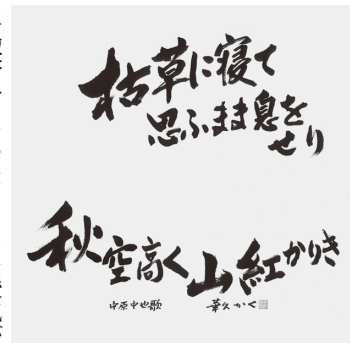
中居大輔 堂々の作。落款の位置、大きさを一考。



田中鉄郎 豊かな墨量で潔い書きぶりに好感。



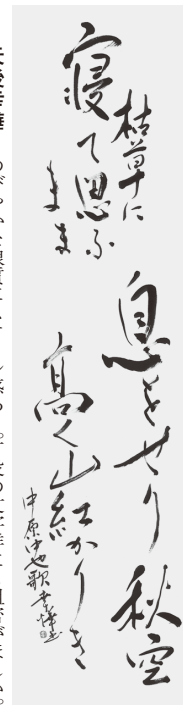
小柿栄子 瀟洒なまとめ方。



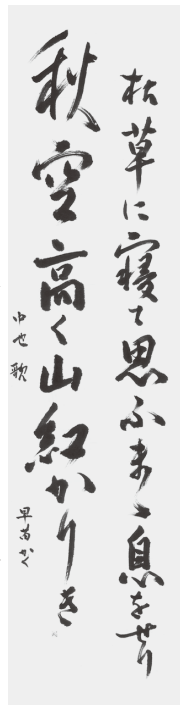
永島華久 ゆつたりとした空気が漂う作。



石田津雪 紙面上での動きが伝わる生命力のある作。



矢後幸輝 のびやかな線質にスケール感あり。下段の文字群にも粗密がほしい。



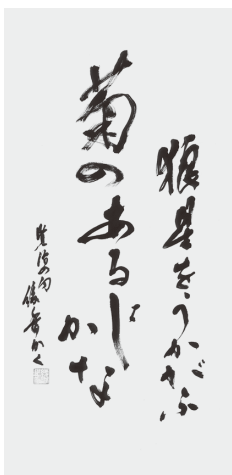
西垣早苗 味わい深い線・文字。墨量の変化があれば更に効果大。



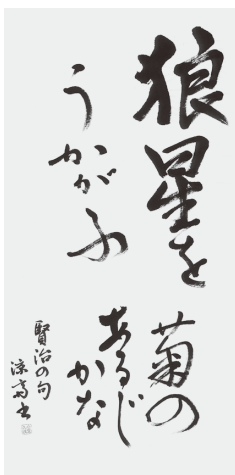
岩元麻理 作品にリズム感あり。作者の心の高まりを感じる。



中島かおる さわやかな作。「かな」の位置一考。



藤井沙香 思い切りの良い大胆な作。落款が詰まったのが惜しい。



佐々木綾香 余白に余韻を感じさせる。上の濁点の方向に注意。

長谷川涼齋 丸みを帯びた線質で軽やか。